



■上映作品「女を修理する男」  
ティエリー・ミシェル監督 (2015年、112分)

■講演者 **池田 恵理子**  
(アクティブ・ミュージアム  
女たちの戦争と平和資料館 (wam) 名誉館長)

■プログラム  
14:00-14:05 開会・趣旨説明 (司会:板橋暁子 (ASNET))  
14:05-16:00 映画「女を修理する男」上映会  
16:00-16:10 休憩  
16:10-16:40 講演会 (講演者:池田恵理子 (wam))  
16:40-17:00 質疑応答  
17:00 閉会

■参加費 無料

■参加方法  
ご参加希望の方は登録フォーム  
(<https://forms.gle/faVDh5iaxJgWXgj58>) または  
ポスター内のQRコードより、前日までにお申込みくだ  
さい。  
※ZoomのURLを当日正午までに、E-mailアドレスに  
お送りします。  
※配給元規定により、開催地 (東京都)、および近隣四県  
(埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県) 在住の方のみお申  
込みいただけます。

【注意事項】  
一部刺激の強い描写もございます。12歳以下のお子様のご鑑賞は  
保護者の方の自主的なご判断をお願いいたします。

2020. **11.28** 土  
14:00 - 17:00

オンライン  
開催

# 「映画シンポジウム アジアを知る」 女を修理する男 上映会・講演会

2018年にノーベル平和賞を受賞されたコンゴの婦人科医、  
デニ・ムクウェゲ医師の治療活動を追うドキュメンタリー  
作品です。舞台は中部アフリカのコンゴ民主共和国ですが、  
戦時性暴力は遠い世界のことでなく、日本とアジアの間  
にも今なお横たわる問題として捉える立場から、「アジアを  
知る」映画シンポジウムとして開催します。

2016年の来日時、ムクウェゲ医師は、日本軍戦時性暴力に  
関する展示活動を長年継続しているアクティブ・ミュージ  
アム「女たちの戦争と平和資料館」(wam) (東京都新宿区)  
を訪問され、展示パネルを見たり、女性国際戦犯法廷の記録  
ビデオも視聴されました。

今回のシンポジウムでは、映画上映後に、wamの名誉館長  
である池田恵理子氏にご講演をいただき、wamの活動や、  
ムクウェゲ医師との交流等についてお話しいただきます。

■主催: 東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク (ASNET)  
■共催: 科研費基盤研究 (A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究 (代表: 長沢栄治)

